

家畜衛生広報いいだ

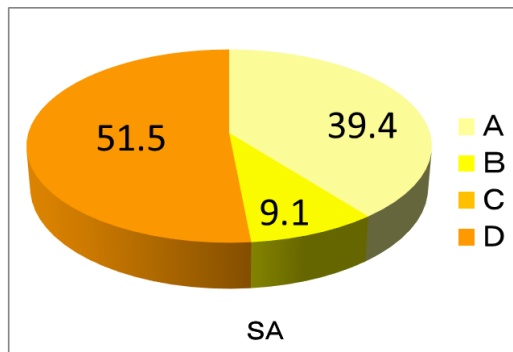
長野県飯田家畜保健衛生所
飯伊家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0265-53-0439、0440
FAX : 0265-53-0441
E-mail: iidakachiku@pref.nagano.lg.jp
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/

R3(2021)8.6発行 2021_No.4

酪農生産性向上対策事業による 第1回 バルク乳検査の結果についてお知らせします

評価 A : 正常/目標 B : やや多い C : 多い D : 非常に多い
グラフ内の数字は管内検査戸数 (33 戸) のうち、A~D 評価の戸数の割合 (%)

★黄色ブドウ球菌 (SA)

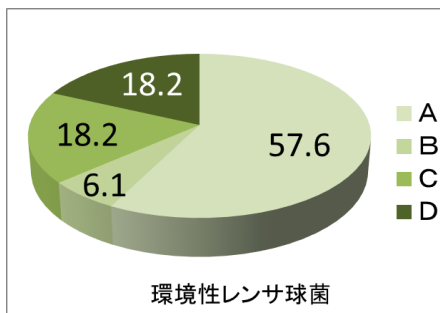
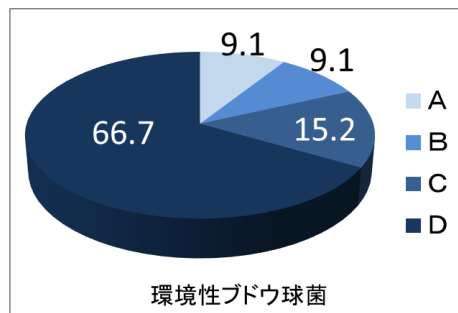


黄色ブドウ球菌 (SA) が 6 割以上の農場で検出されました。

SA は検出されないこと(評価 A)が重要です。

SA 感染牛の特定など、対応については当所にご相談下さい。

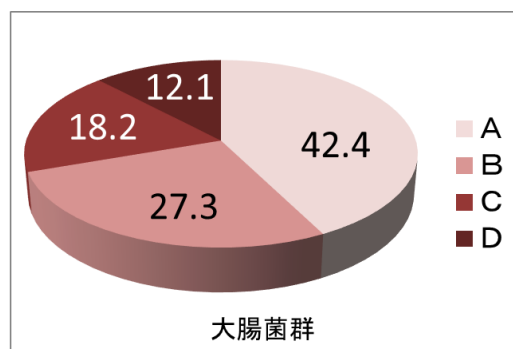
★環境性ブドウ球菌、環境性レンサ球菌



これらの菌は、搾乳作業や飼養環境の衛生状態の指標となります。

バルク乳の体細胞数が多い場合にはこれらの菌による乳房炎牛の存在も疑われます。

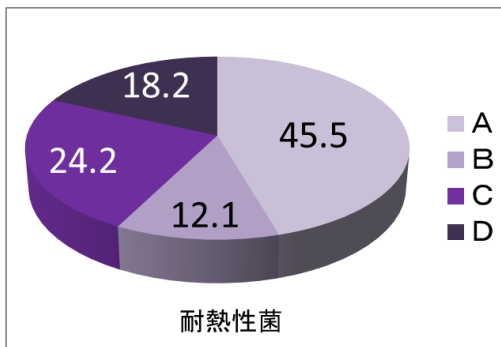
★大腸菌群



大腸菌群が多数分離される場合、搾乳中に糞便などを誤って吸引していたり、搾乳機器の洗浄殺菌に問題があったりします。

菌数の多い農場は、搾乳手技や搾乳機器の衛生管理を確認しましょう。

★耐熱性菌



耐熱性菌は搾乳機器の洗浄・殺菌状態の良し悪しを反映します。

検出された農場は搾乳機器の洗浄手順を再確認しましょう。

★無乳性レンサ球菌、マイコプラズマ検査及び牛ウイルス性下痢ウイルス検査は、全戸陰性でした。

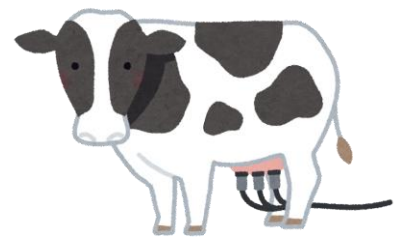
今回、SAが検出された農場が全体の約60%でした。

SAは難治性の乳房炎を引き起こし、感染乳汁から搾乳者の手指や搾乳機器を介して牛から牛へ伝搬します。

体細胞数増加の要因であり、乳量と乳質の低下を招き、酪農家に甚大な経済損失をもたらします。

SAの予防・対策法

- ✓ 感染牛の特定
- ✓ 搾乳時の適切な衛生管理（ミルカーの点検整備、ポストディッピングの確実な実施など）
- ✓ 乳頭皮膚を健康に保つ
- ✓ 乾乳期治療
- ✓ ワクチン接種
- ✓ 感染牛の淘汰



搾乳衛生・管理等のご相談はお気軽に！

連絡先 飯田家畜保健衛生所 保健衛生課

Tel 0265-53-0440 Fax 0265-53-0441

ONE NAGANO

みんなでひとつに がんばろう信州

Working together to support one another